

# FRONTIER21における弥生会計の運用について(達人連動)

◆弥生会計⇒達人への連動をする場合、以下の手順でご利用ください。  
画面は弥生会計18⇒法人税の達人(平成29年度版)です。

(サンプル)共有フォルダ名:0031 目黒トレーディング/ファイル名:目黒トレーディング(33期～35期)

あらかじめ、デスクトップに[F21データ](名称任意)というフォルダを作成しておいてください。

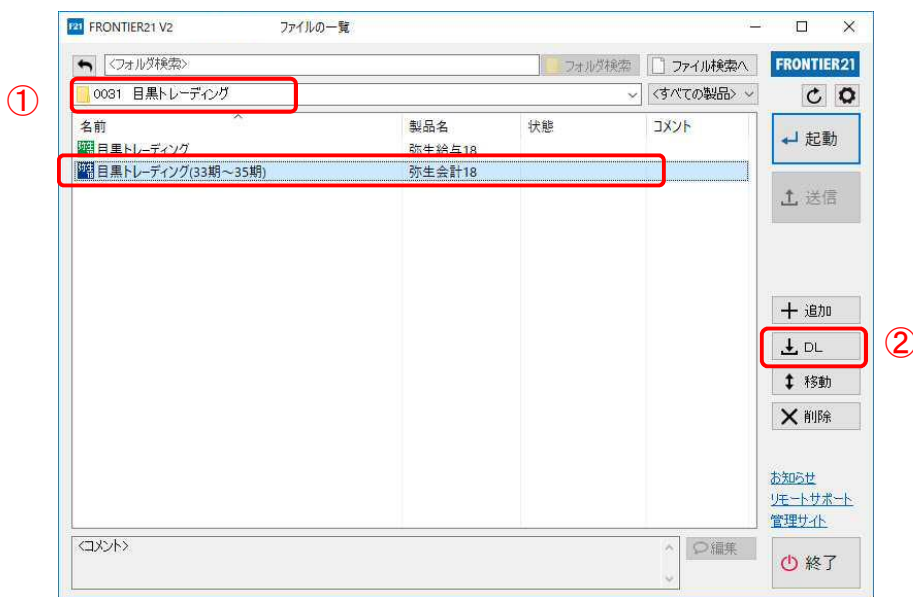
## ■データダウンロード手順

①デスクトップのFRONTIER21 V2のショートカットをダブルクリックして起動、ログインします。

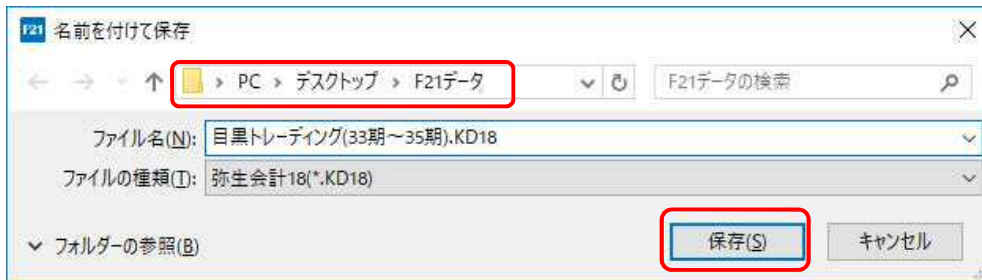


②[ファイル一覧]画面で、フォルダ名[0031 目黒トレーディング]を選択します(①)。

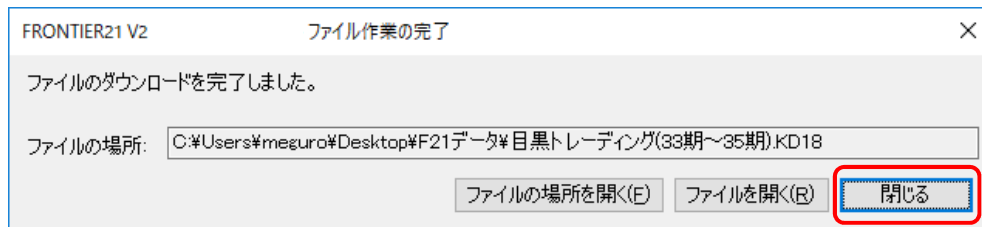
[ファイル一覧]に表示される【目黒トレーディング(33期～35期)】を選択し、[DL]ボタンをクリックします(②)。



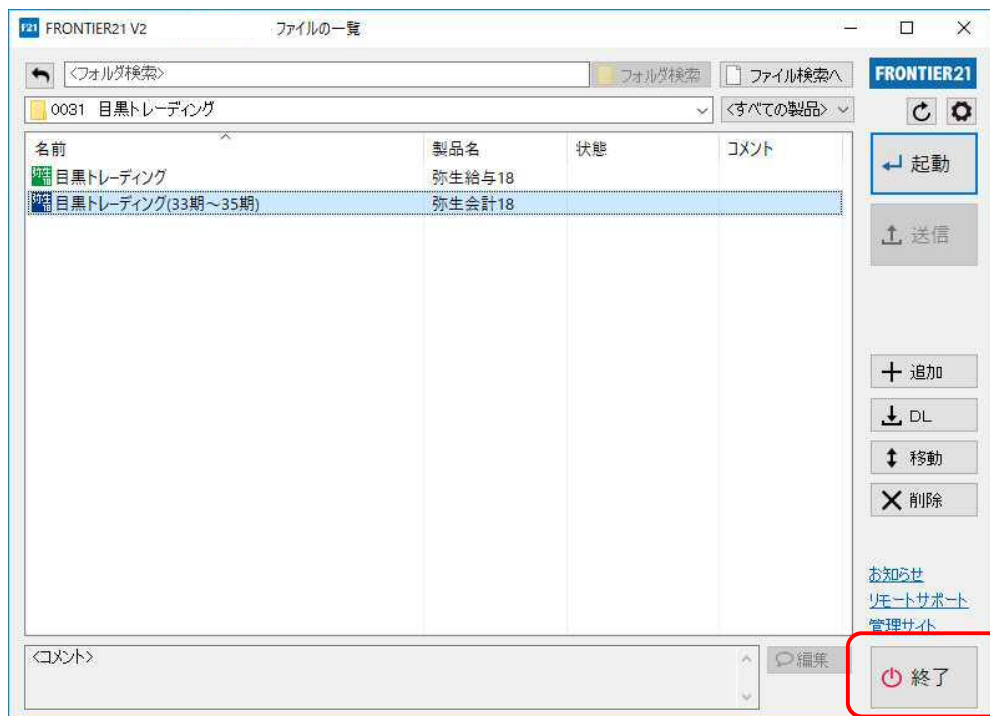
④[名前を付けて保存]画面が表示されたら、[F21データ]フォルダを選択し、[保存]ボタンをクリックします。



⑤ファイルのダウンロードが完了したら、[閉じる]ボタンをクリックします。

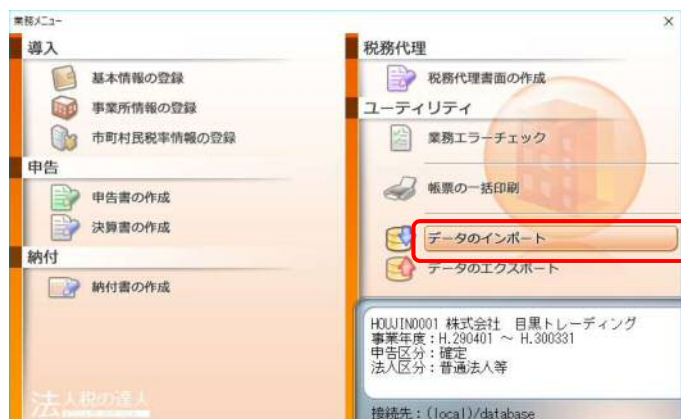


⑥ダウンロードが完了したら、終了ボタンをクリックします。

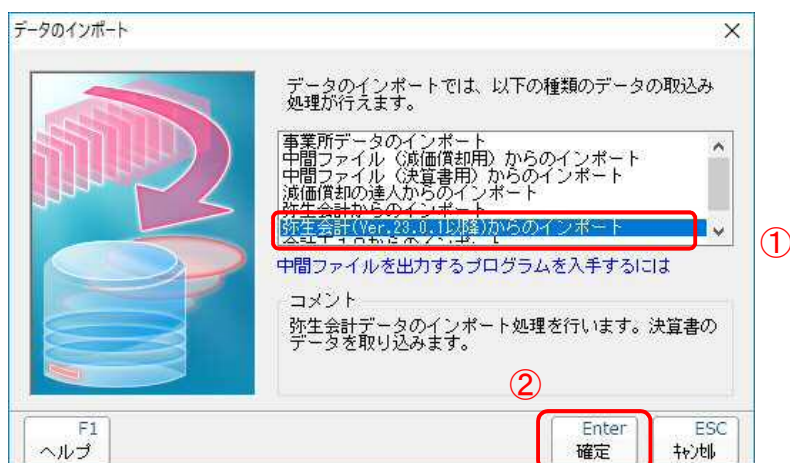


## ■連動手順

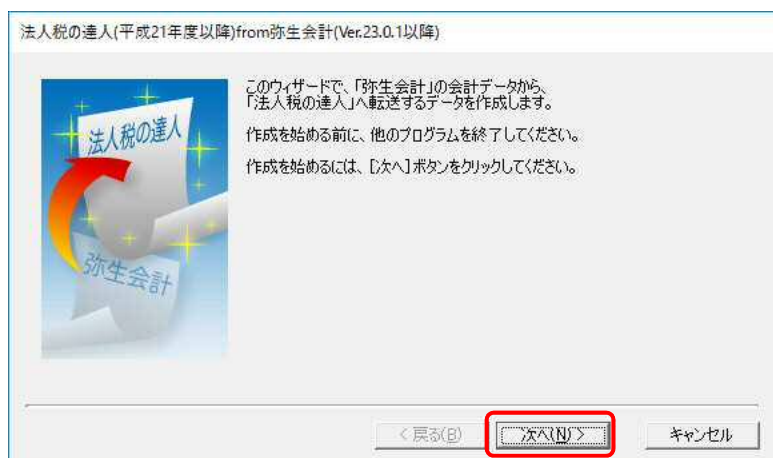
①[法人税の達人]を起動して顧問先データを開き、業務メニュー[データインポート]をクリックします。



②[弥生会計(Ver.23.0.1以降)]からのインポートをクリックし(①)、[確定]をクリックします(②)。



③[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)]画面が表示されます。  
[次へ]をクリックします。



- ④[データ種別の選択]で[このコンピュータ、またはサーバー上にある事業所データから転送する]を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

データ種別の選択

「法人税の連入」へ転送する事業所データの種別を選択してください。

☒ このコンピュータ、またはサーバー上にある事業所データから転送する(C)

☐ 弥生ドライブにある事業所データを転送する(D)

☐ 弥生オンラインの事業所データを転送する(Q)

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

②

- ⑤[データの選択]画面で[参照先]をクリックします(①)。  
[参照先の設定]画面で[保存場所]を[F21データ]フォルダにします(②)。  
[OK]をクリックします(③)。  
【目黒トレーディング(33期～35期).KD18】を選択し(④)、[次へ]をクリックします(⑤)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

データの選択

「法人税の連入」へ転送する事業所データを選択してください。

事業所データ	会社
目黒トレーディング(33期～35期).KD18	18

参照先(L)...

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

⑤

[参照先の設定]

参照先の設定

データ形式(E): ☒ スタンドアロン   ☐ マルチユーザー

参照先フォルダの指定

保存場所(I): **C:\Users\meguro\Desktop\F21データ\**   参照(B)...

③   **OK**   キャンセル

- ⑥[処理年度の選択]で処理年度を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

処理年度の選択

「法人税の連入」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度の選択	
決算期	会計期間
第33期	H27/04/01～H28/03/31
第34期	H28/04/01～H29/03/31
第35期	H29/04/01～H30/03/31

①

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

②

⑦[決算種類の選択]で対象期間を選択し(①)、[次へ]をクリックします(②)。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

### 決算の種類の選択

「法人税の連入」へ転送する決算対象となる期間を選択してください。

①

- ☒ 本決算(H)
- ☐ 中間決算(上半期決算)(Q)
- ☐ 月次決算(S)

期間(Q) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

②

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

⑧[転送データの作成]画面で[作成開始]をクリックし、[完了]をクリックします。

法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

### 転送データの作成

作成するデータの名称を入力してください。

場所: [C:\\_Hj29\2559a1f2-21d7-11d4-bdaf-00c04f60b...] 参照(S)

名称(N): [Hj21TEMP4]

[作成開始]ボタンをクリックすると、「法人税の連入」へ転送するデータを作成します。

< 戻る(B) **作成開始** キャンセル



法人税の連入(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

### 転送データの作成完了

「法人税の連入」へ転送するデータの作成を完了しました。  
[完了]ボタンをクリックしてください。

< 戻る(B) **完了** キャンセル

⑨[インポート対象帳票]を設定して(①)、[確定]をクリックします(②)。

①

### インポート対象設定

インポート対象帳票

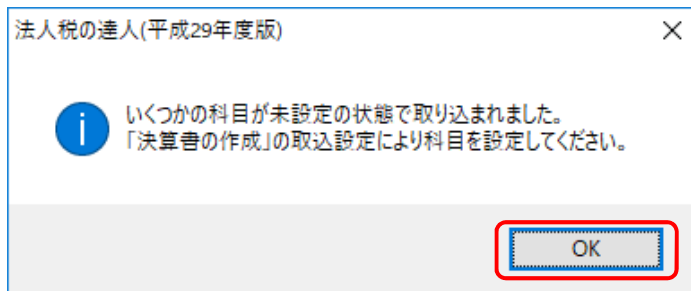
- ☒ 貸借対照表
- ☒ 損益計算書
- ☒ 製造原価報告書
- ☒ 株主資本等変動計算書

・インポート対象を選択します。  
※ 上記の欄にデータが存在する場合は上書きされます。

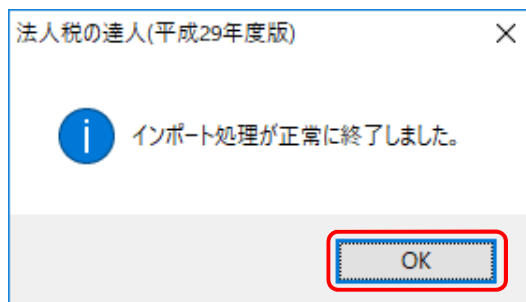
②

**Enter** 確定 ESC キャンセル

⑩[OK]をクリックします。



⑪[OK]をクリックします。



※注意※

連動後には「法人税の達人」側で取り込み設定を行う必要があります。詳細な手順については「達人Cube」-「情報コミュニティ」-「各種マニュアル」-「申告書作成ソフト」-『法人税の達人運用ガイド』の付録「決算書を作成する」-「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

⑫デスクトップに作成した[F21データ]フォルダの中のデータは作業終了後に削除してください。

